

Vol.5

**パラソル便り**

平成26年1月31日発行

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　誠信会児童家庭支援センター

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　パラソル　発行



**パラソルってどんなところ？？**

今年度4月に、誠信会児童家庭支援センター「パラソル」を開設させていただき10ヶ月が経過しようとしています。地域や関係機関のみなさまにはパラソルの事業について、御理解御協力をいただき、地域に少しずつ浸透しつつありますが、今一度パラソルについてご案内させていただければと思います。

**例えばこんな時にご相談いただければ、お役にたてます**。

・保護者の方への支援をしてほしい　　　　　　　　　・子どもやその家庭について相談したい

・心理相談や検査、面接をして欲しい　　　　　　　　・とにかくどうしたらよいか分からない

パラソルは、ご家族・お子さん・関係者のみなさまから、子育てや家庭の悩み等のご相談に応じ、相談者の方のご負担や心配事、悩みを少しでも軽減できるよう一緒に考えていきます。また、必要に応じて関係機関と協力をしながら、その相談者の方にあった支援のコーディネートや心理的なケアも行うことができます。さらに、関係者のみなさまへのご協力の方法として、心理士による勉強会やミニ講座、出張相談などもありますのでご活用ください。**相談は無料で、もちろん秘密は厳守します。**まずはお気軽にご連絡を下さい。一人でも多くのお子さんの笑顔を、皆さんと一緒に地域で守っていきたいと考えておりますので、今後も御力添え、御協力をお願いいたします。



**～障害を持つお子さんのきょうだいに目をむけて　No.２～**

　今回は、きょうだいに対しての配慮や対応の中で大切にしてほしい点を簡単にまとめました。

①　きょうだいに対しても、その年齢に応じて障害について説明しておくこと。隠すことできょうだいの中でも疎外感や偏見が生まれてしまう可能性が高まります。

②　きょうだいたちの世話の負担を軽くして、自分のための活動をやらせることや、居室を確保し、一人になれる場所と時間を確保すること、親と二人だけになる時間を確保すること。

③　対等に扱うことやきょうだいの努力や達成をみとめること。できなかったことを叱られる家庭から取り組んだことをほめる家庭になる。

⑤　家族外からの援助を上手に利用すること。うまく専門機関や親戚、

地域の資源などを使ってみんなで子育てをしていく。

⑥　親自身が健康で前向きにいられること。家族の中心はやっぱり保護者の方なので、家族が前向きでいるためにも、うまく息抜きをして自分自身の健康にも目を向けてください。

（　西村　辨作　愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所「障害児のきょうだい達の心の健康～きょうだい達をどう健やかに育てるか～」ほかを参考にしました。）



**パラソルの図書文庫をのぞいてみよう♫**



ここでは、パラソルがお勧めする図書を一冊ずつ紹介していきたいと思います。

今回は「きみの行く道」（作　ドクタースース）という本をご紹介！卒園・卒業だけでなく、さまざまな旅立ちを迎えるひと達に贈ってほしい本です。年齢が高くなればなるほど感じるものが多くなると思います。新しい世界へと飛び込んでいく、中学生や高校生などの年齢の高い子にこそ、読み聞かせてもらいたいなと思います。

　　　　　　　　　　　　人生はいい時も悪い時も両方あって、自分自身が一歩一歩踏みしめて歩いてきた道が自分自身を作っている。旅立つみなさんはどんな道を歩いていくのでしょうか。



**パラソルの活動報告**

12月　総対応件数　71件

1月　総対応件数　48件

（1月25日現在）

パラソルでは子育て中の皆様を応援しています。いま困っていること、心配なことなど…誰かに話を聞いてほしいなぁ～と思ったら、お電話ください。相談料は無料、相談内容の秘密は厳守します。

**0545-37-1010**

**編集後記**

　発行日が節分ですが、みなさまのご家庭では豆まきなどされたのでしょうか？今年の恵方は「東北東やや右」だそうで、みなさんは恵方を向いて恵方巻を食べられましたか？バレンタインも2月に控えていますね。好きな人に贈るだけでなく、日ごろの感謝をちょっと表すにはいい機会かなと思っています。

イベントの多い2月3月ですが、体調にはくれぐれもお気を付け下さい。　　　　　　　　　　　　　　編集者

　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　のぞいてみてね！！誠信会のHP→

